

2020年度(令和2年度) 予算編成に関する 要望書を提出



うじ未来 要望書 40の施策提言(抜粋)

2018年～2022年まで財政健全化推進プランに取り組むにあたり、貯金を増やして将来に備える必要は理解していますが、それだけでなく、今を生きる私たちにも市民生活がよくなったと実感できる「夢」と「希望」を目に見える形で示すことが必要であります。

我々うじ未来は、「現代を生きるものの施策」と「未来を生きるものの施策」のバランスと市民理解が大変重要であると考え、宇治市政へ40の重点施策要望を提出しました。

山本市長には、さらに宇治市の魅力を高める工夫を重ねられ、お茶と歴史・文化香るふるさと宇治の実現に向けて、市民そして全職員の先頭に立って、全力で着実に取り組まれることを期待します。

総務

財政健全化

- ▶さらなる内部経費の見直し
- ▶宇治市の将来像(ビジョン)を市民へ示す

公共施設

- ▶柔軟な発想で新規利用者の増加への取り組み
- ▶今の時代・ニーズに即した施設管理施策への取り組み



文教・福祉

中学校給食

- ▶令和5年度開始に向けた計画の策定
- ▶実施のための組織体制の確立

教育環境

- ▶学校規模適正化や校区の再編などの方向性を提示
- ▶幼児教育無償化実施後の効果的・効率的な子育て支援施策



市民・環境

産業戦略

- ▶市内企業の交流連携の推進と販路拡大などへの取り組み
- ▶地元企業の人材確保

観光戦略

- ▶地元へ経済波及効果のある新たなにぎわいイベントの創出
- ▶宇治茶ブランドを守るためのきめ細かい実効性のある支援



建設・水道

まちづくり

- ▶人口規模に応じた、まちづくりへの見直し
- ▶歴史公園整備など歴史と文化がかおるまちづくりへの取り組み

防災・減災

- ▶自然災害が発生しても被害を最小限に食い止めるための様々な防災・減災対策への着実な取り組み



12月定例会 一般質問 服部・岡本・西川 3名が質問!

宇治公民館後の活動場所の整備について

宇治公民館閉館後、菟道ふれあいセンターの利用スペースの縮小も相まって中宇治地域の活動場所に困っているという市民の方の声をよく聞いてきた。これを受けて、これまで中宇治地域の活動場所について新たに整備していただくよう求めてきた。今後の整備についてどうなるのか質問したところ、市からの答弁では、子供から大人まで今までの枠組みにとらわれない新たな公共施設として考えていく、そのために「未来型公共施設検討委員会」を立ち上げ進めていくとの回答を得た。



服部 正 議員

ごみ収集について

ごみステーションは市内に約6,000か所あり、町内で管理をしていただいている。大きく分けて6種類のごみを分別収集されているが、収集日程は、びん・ペットボトルとプラマークの日が重複し、また1部の地区ではさらに缶が加わる。狭いごみステーションでは混雑し、日程的にも難しくなっているし、地区割も今の地域の人口と比べて増減もしている。市民の皆さんの責任で、ゴミ出しのルールを守ることが課題解決になると思う。しかし、今後さらに増える高齢者やおひとり暮らしの方に対して、町内会だけでは解決できないごみ収集全体の日程や回収方法などの課題については、行政の対応をお願いしたい。



岡本 里美 議員

人口減少対策について

更に人口減少少子高齢化が進むのは確実であり、今後の人口規模や社会状況に即した行政の在り方を考える事は当然であり、それとともに急激な人口減少に歯止めをかける必要がある。

限られた財源の中、出生による自然増加と転入による社会増を効率的に進めるため、他の参考事例をもとにするのではなく、EBPM(事実関係データをもとに分析をした証拠を元にする政策の立案)による計画の策定とクラウドファンディングやICTなど、新しい取り組みを積極的に取り入れた施策の実行が必要である。



西川 友康 議員

4常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防など総務を担当



西川 友康 角谷 陽平

NET119緊急通報システムの導入について



聴覚・言語機能に障がいをお持ちの方が、スマホ等のインターネット機能を利用して、いつでも全国どこからでも119番通報できるシステムで、利用には事前登録が必要。令和2年3月1日より、宇治市では運用開始。

文教・福祉 常任委員会

教育、福祉を担当



岡本 里美

未就学児交通安全対策

保育所外での移動中の交通事故など、全国的に発生していることを受け、本市でも関係課と保育所等の各施設、道路管理者、京都府警察が連携し不安と感じる箇所について、未就学児等が日常的に集団で移動する経路の安全確保に向けた取り組みを進めている。



市民・環境 常任委員会

観光、自治、ゴミ収集、農業委員会などを担当



松峯 茂 今川 美也

「源氏ろまん2019」事業実施結果について

1. 紫式部文学賞・紫式部市民文化賞受賞作品発表
2. 源氏物語セミナー
3. 宇治田楽まつり
4. 宇治十帖スタンプラリー
5. 紫式部文学賞・紫式部市民文化賞贈呈式
6. 紫式部文学賞受賞者講演会
7. 同時開催事業



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



真田 敦史 服部 正

宇治市植物公園の今後について

市民の都市緑化の推進を目的に整備された宇治市植物公園が収支状況に課題があるといわれる中、集客状況、植物管理は非常にクオリティが高いという評価。これを受けて今後の運営についてはどうしていくかを考えていくためにサウンディング型市場調査を実施、その上で「宇治市植物公園あり方検討委員会」からの提言書では様々な提案が出され、今後についてはこの提言書をもとに取り組みが進められる。

うじ未来 議員紹介

- 松峯 茂** 【まつみね しげる】 ●うじ未来 団長 ●市民環境常任委員会委員 ●城南衛生管理組合議長 ●議会運営委員会委員
- 真田 敦史** 【さなだ あつし】 ●宇治市議会議長 ●建設水道常任委員会委員
- 服部 正** 【はっとり ただし】 ●広報委員会副委員長 ●建設水道常任委員会委員

- 今川 美也** 【いまがわ みや】 ●市民環境常任委員会委員 ●城南衛生管理組合議会議員
- 岡本 里美** 【おかもと さとみ】 ●文教福祉常任委員会委員 ●京都府後期高齢者医療広域連合議会議員
- 西川 友康** 【にしかわ ともやす】 ●議会運営委員会副委員長 ●総務常任委員会委員
- 角谷 陽平** 【かどや ようへい】 ●総務常任委員会委員 ●広報委員会委員